



3万本のルピナスがお出迎え — 春の丘のルピナス祭り・ 花と緑のフェスタ —

市花木センターでは4月13日から5月6日の間、「春の丘のルピナス祭り」が開催され、会場では本州最大級を誇る3万本のルピナスが、その鮮やかな彩りと甘い香りで来場者を楽しませました。

また、同会場で4月20日から5月6日の間、「花と緑のフェスタ」が開催され、こちらではさまざまな展示や教室が開かれ、連日多くの人で賑わいました。

まちづくりにDXを — DXでやさしいまちづくりに 向けた連携協定締結式 —

市では、地域の活性化と市民サービスの向上を目的に、(株)NTTドコモ、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)、(株)カキヌマの3社と「DXでやさしいまちづくりに向けた連携協定」を締結しました。

本連携では、市民向けスマートフォン教室の機会を増やすほか、ドコモショップ鹿沼店内に地場製品の販売コーナーの設置、電波の届くエリアを南摩ダム周辺まで拡大するなど、DXの推進が期待されます。



日本料理で鹿沼をPR! — かぬまふるさと大使任命 —

帝国ホテル東京の直営レストランでは初となる日本料理店「帝国ホテル 寅黒」の調理責任者である鷹見将志さんが、4月22日にかぬまふるさと大使の委嘱を受けました。

市出身の鷹見さんは「帝国ホテル 寅黒」の開店を任せ、わずか1年で「ミシュランガイド東京2023」において、一つ星を獲得しています。

委嘱式の中で「そば、いちご、ニラをはじめ、鹿沼のさまざまな食材を取り入れてふるさとをPRしたい」と熱い思いを語ってくれました。

